

浜私幼

公益社団法人 横浜市幼稚園協会 発行
 〒221-0055
 横浜市神奈川区大野町1-25
 横浜ポートサイドプレイス
 アネックス5F
 電話 045 (534) 8708
<https://www.kids-yokohama.or.jp>
 編集 横浜市幼稚園協会広報部
 発行者 清水純也
 印刷所 KAMEI STUDIO



(公社)横浜市幼稚園協会 協会報 No288

横浜市幼稚園教育研究大会 分科会のご報告

横浜市幼稚園協会では、幼稚園・認定こども園の教育・保育の質の向上をはかるべく、先生や保護者の皆さま向けに研修会等の企画運営をしております。1月25日(土)に行われた横浜市幼稚園教育研究大会分科会は、1878人の先生方にご参加いただきました。

今年の研究テーマは「ともに育ち合い 一人ひとりが輝ける未来を」です。9つの分科会に分かれ、研究の成果が発表され、活発な意見交換がなされました。

以下、分科会の研究テーマをご紹介します。時には温かく見守り、時には手をとって、子ども達を導いてくださっている担任の先生も、ご参加されたかもしれません。

第1分科会 (特別研究委員会1)

「環境を見直してみよう! 変えてみよう!」

～見て、聞いて、語り合う中で生まれてくること～

講師: 宮里 暁美 先生

(お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション 特任教授)

第2分科会 (特別研究委員会2)

子どもとの対話を対話しよう

～子どもの主体性を尊重した保育の充実を目指して～

講師: 三谷 大紀 先生

(関東学院大学教育学部こども発達学科 准教授)

第3分科会 (特別研究委員会3)

インクルーシブな視点から保育を見直してみませんか?

～多様な子どもたちが自己発揮できる保育について
考えよう、語り合おう、見つけよう～

講師: 吉川 和幸 先生

(国立特別支援教育総合研究所研究企画部総括研究員)

第4分科会 (神奈川支部)

幼児教育における SDGs の保育実践

講師: 木戸 啓絵 先生

(東海大学児童教育学部児童教育学科 専任講師)

第5分科会 (保土ヶ谷支部)

身近なもので表現あそび

講師: 二木 秀幸 先生

(静岡福祉大学子ども学部子ども学科学科長 教授)

第6分科会 (金沢支部)

子どもと絵本～豊かな言葉が育つ保育を目指して～

子どものつぶやきに耳をすましてみよう*子どもの心を豊かに育む園環境を見直そう

講師: 児玉 ひろ美 先生 (JPIC 読書アドバイザー)

宮里 暁美 先生 (お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション 特任教授)

第7分科会 (青葉支部)

それぞれの園における、配慮や支援が必要な園児に対する対応モデルを構築する

講師: 孫 ちよんす 先生

(生涯学習開発財団認定マスターコーチ (株) リール代表)

第8分科会 (栄支部)

幼児教育における、子どもの発達に配慮した音楽遊び
～手作り楽器や自然素材を使った

音楽遊び、幼児音楽の実践～

講師: 大野 聡美 先生 (小田原短期大学ピアノ特別講師)

第9分科会 (泉支部)

クラスの気になる子について

～クラスに入れない気になる子、先生から見て
ワクワクが止まらない気になる子～

講師: 及川 智博 先生

(文教大学教育学部
発達教育課程 専任講師)



横浜市幼稚園 保護者の会主催

わくわく☆ 子育てセミナー



今回のセミナー会場は、普段先生方の会議に使われている会議室。
風船やペーパーフラワーなどで飾り付けをして、楽しい雰囲気づくりをしました♪



モンテッソーリ教室「ちいさないす」代表。モンテッソーリ教師として現場に立つ他、講座・講演会・無料相談などこれまで25,000組以上の親子にかかわる。著書にAmazon家庭教育カテゴリでベストセラー1位「子どもの才能を伸ばす5歳までの魔法の『おしごと』」がある。

元名古屋第二赤十字病院 新生児科部長
田中太平先生 推薦!

寒さが一段と厳しくなった12月6日、今年もわくわく☆子育てセミナーを開催しました。

今年度は、「ちいさないす」代表の丘山亜未先生による〈“モンテッソーリ流”我が子の個性が輝く比べない子育て〉をテーマに、様々なお話をいただきました。

子育ては正解のないものだとは頭では理解していても、必死に我が子と向き合う中で「これで良いのだろうか?」と不安になってしまうことがあったり…。

どうしても同学年のお友達や兄弟と比べてしまう…。こんなことはありませんか?そんな不安や悩みが少しでも軽くなるコツを、丘山先生にわかりやすく教えていただきました。その中で特に印象に残った言葉をいくつかご紹介したいと思います。

- いま、親が子どもにあげられる一番のプレゼントは、「あなたはあなたのままでいい。誰かと同じにならなくていい。何者にもならなくていいんだよ。」という言葉のギフト。
これは親しかあげられないもの。失敗や挫折したときにこの言葉が支えになる。
- いつ目の前の子どもを可愛がる?未来の不安に振り回されない。心配事の9割は起きないと言われていた。目の前にいる“いま”の我が子を可愛がる。
- 「生まれてきてくれてありがとう。」これはいつでも何回でも伝えて良い。

これなら出来そう!という小さな声かけからしていきたいなと思いました。

講演後、質問タイムを設けましたがこちらも大盛況!次から次へと質問が止まりませんでした。

そんな中、1人ひとりに寄り添ってアドバイスをくださった丘山先生、本当にありがとうございました。

当日都合が合わず会場へ来られなかった方、アーカイブ配信で観ることが出来ますので、ぜひご覧になってみてください。

子どもにとって何が最善なのか…これからも私たちの悩みはきっと続いていくでしょう。でも今悩んでるこの時間さえも、かけがえのない子育ての時間なんだということを実感しながら、親子で笑顔の時間が増えていったらいいなと思います。

お母さんお父さんの笑顔は子どもの笑顔に繋がります。保護者のみなさま、今日もおつかれさまです!



まだまだたくさんお話をお聞きしたいところですが…
記念に先生を囲んで記念撮影させていただきました。講演内容の打ち合わせからセミナー当日までとても親身になってくださった丘山先生、本当にありがとうございました。



子育て相談室

「大好き！」を惜しみなく

横浜市幼稚園協会 子育て教育相談員 鈴木 由美子

世の中に「自己肯定感」という言葉がよく聞かれるようになりました。日本の子どもは「自己肯定感」が低いと話題になったこともありますね。

自己肯定感が低いと自信がなくていろいろなことに積極的になれないのではないかと、人の顔色ばかり窺う子になってしまうのではないかと、そんな心配も出てきますね。

自己肯定感ってどうすれば育つのでしょうか？ほかの子より良くできることを見つけてほめて自信をつけさせる？

でも、うちの子より良くできる子は世の中にたくさんいますね。その人に会ったとき自信を無くしてしまうのでしょうか？

「根拠のない自信」という言葉があります。自信を持つために根拠を求めるとそれはもろいものです。でも人間は「自分は大丈夫」「自分は自分らしく自分であっていい」という根拠のない自信を持つことができます。こちらの自信を心理学では「基本的信頼感」という言葉で表現することがあります。

泣くことしかできない赤ちゃん時代に泣いて訴えるたびに優しくお世話をしてもらえ、気持ちよくしてもらえた何千回という経験がまだ言葉を持たない赤ちゃん時代の心に刻み込まれています。自分では何もできないこの時期にあやしてもらい抱っこしてもらって楽しく笑いあうこと、声を出せば応えてもらえる経験を繰り返して、お父さんお母さんへの愛と信頼をはぐくんできました。幼稚園ごろまでの子ども達は自分のお父さんお母さんが世界一だと思っています。家庭内で笑いが絶えない楽しい時間をたっぷり過ごし、「大好きだよ！」という言葉がたくさんかけてもらった子どもほど自己肯定感はしっかり育つそうです。

親が子どもをかわいいと思うのは当たり前、子どももそうわかっているはず、とつい思ってしまいますがそうはいきません。叱られると「お母さんは僕のこと嫌いなんだ」と感じてしまうこともあります。「～できるといい子なのにね～」「もっとがんばって！」子どもを励まそうとしてかけるこんな言葉も、「～できない私はダメな子なんだ～」と感じてしまうこともありま

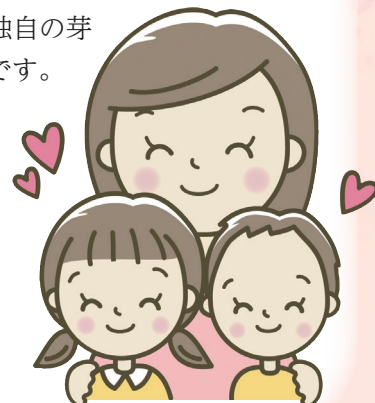
す。せっかくの自己肯定感も下がってしまいますね。

叱るときにちょっとした言葉かけのコツがあります。「〇〇ちゃんのことは大好きだけど、たたくのはよくないと思うよ。言葉で言おうよ」というように行動だけをとりあげてどうすればよかったかまで伝えられれば、お母さんに嫌われた～と誤解することもないでしょう。子どもがいくら失敗してもお母さんお父さんに嫌われることがない、と安心できれば新しいことに生き生きとチャレンジすることができるでしょう。安心してチャレンジできればどんどん伸びていくことができます。その大元は「お父さんお母さんは自分を愛して守ってくれる」「愛される自分はいいやつだ」「この世の中に生きていくことは楽しい」という基本的信頼感です。これは乳幼児期に一番よく育ち長い人生の土台となる大切な感覚です。怖い顔をして文字を教える前に、一緒にクレヨンをもってなぐり書きをして笑いあう、サッカーのルールを教える前に追いかけっこで笑いあう。ただ一緒にいることが楽しい！という時間をたっぷりとることが子ども時代の親の大切なかわり方だと思います。

「どんなあなたであっても、大好きよ！」「何があってもあなたの味方ですよ！」「いてくれるだけでうれしい♡」こんな風にはっきり言ってあげることってなかなかないかもしれませんが、お子さんが「お母さん僕のこと好き？」と聞いてきたらぜひ満面の笑顔で抱きしめながら言ってあげてください。親に愛されているという確信が子どもの自己肯定感をぐっと高めてくれます。笑顔を向けるだけでも自己肯定感は充電されていきます。ちょっと離れていても子どもが遊んでいる姿をニコニコしてみてもあげませんか。あの子はできるのにうちの子は～とか、もう〇歳なのに～とか思いながら怖い顔をして過ごすより、無理してでも笑顔を作って過ごす方が親も子どもも幸せに暮らせると思いませんか？親に愛されていると思えたら子どもの中にあるその子独自の芽はすくすくと伸びていくはずですよ。

「大好き！」をたっぷり子どもにそして家族全員にプレゼントしませんか？

大人になっても自己肯定感
は育っていくのです♡



事務局よりお知らせ

電話による子育て教育相談のご紹介

子育て中の気になること、困ったこととお話してみませんか？
子育て経験のある臨床心理士があなたと一緒に考えます。



- 相談員**
- 鈴木由美子先生 (臨床心理士・公認心理師)
 - 大森 由紀 先生 (臨床心理士・公認心理師)
 - 高橋 美緒 先生 (臨床心理士・公認心理師)

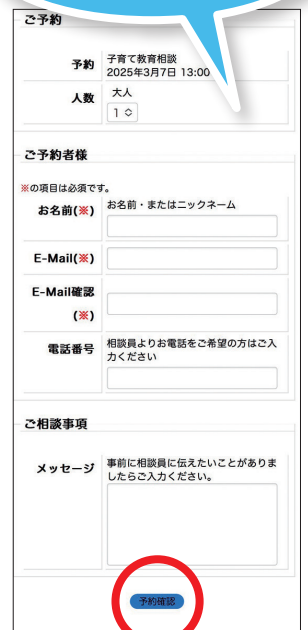
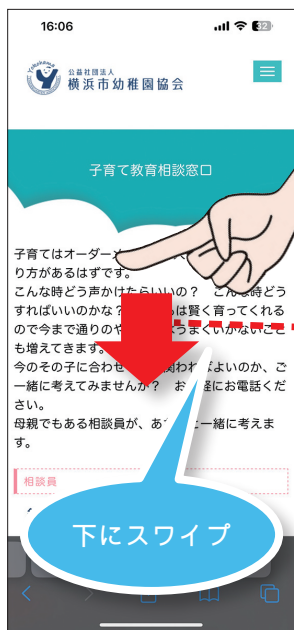
相談日・時間帯 火・金 10:00~12:00 / 13:00~15:00 (火曜日は第2週・第4週のみ 年末年始・祝祭日を除く)

- 利用方法**
1. ホームページ / スマホから予約
 2. 予約時間になりましたら、相談員の先生から登録されたお電話番号にご連絡いたします。
(電話番号を開示したくない場合は、予約時間に045-534-8837にお電話ください。)
 3. 1回の相談につき、45分間相談できます。

スマホでの予約手順



相談の
予約ページに
アクセス



子育てコラムのトピック募集中

幼稚園協会では、子育てコラムを掲載しています。
相談員の先生方に、こんなこと聞きたいな、書いて
もらいたいな、と思うトピックがございましたら、
お知らせください。お待ちしております！



募集フォーム

